

令和二年（二〇二〇年）度

春風会総会開催にあたり

代表取締役 三木 拓哉

向暑の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

春風会は本年四月で満二十年を迎えることができました。これまでに多大なご支援ご尽力をいただいたご利用者様、ご家族の皆様、職員の皆様に心より感謝申し上げます。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大により、運営上でも様々な見直しが迫られております。春風

会だけでなく多くの事業者が苦境に立たされている昨今でありますが、社会保障を取り巻く厳しい環境も含め、今年度はそれ相応の覚悟を持って取り組み年であると感じております。

さて、六月十六日に毎年職員と共に開催しております春風会総会を今年も無事開催することができました。総会時には毎年度のテーマを発表しております。今年度のテーマは「春

風会プライドを地域オンリーワンへ、そして地域ナンバーワンブランドへ」とさせていただきました。

私たち春風会が今日まで注いできた情熱や弛まぬ努力の源は決して枯れることはありません。今年度のテーマを基に「春風会プライド」で「春風会でなければ」と心から望んでいたいただけるサービスをご提供できるように、そして、地域のご利用者様もそして職員達

も共に楽しく輝けるような環境を創造してまいりたいと考えております。

今年度を「春風会プライド」が輝く記念すべき一年となるように皆様と共に歩ませていただきましたと心から願っております。これからもよろしくお願い申し上げます。



~春風だより~ KOHARUBIYORI Life Support Network 小春日和



2020年7月発行 第54号

春風会 スタッフ紹介



石川 和義

わかのうら小規模
多機能型居宅介護
リーダー

春風会に入社して七年が経ち、昨年から小規模多機能での勤務になり新しい環境の中、ご利用者により良い支援を提供できるように努めて参りましたが、まだまだ未熟ではあります。周囲の職員と協力しながらご利用者が笑顔になれるサービスを提供できるように取り組んで行きたいと思っています。



庄司 弘恵

きしグループホーム
介護職員

今年の5月、春風会きしのグループホームに入社しました。未経験者な為、職場の先輩職員の皆様にご指導頂きながら、安全に正しく覚えていきたいと思っています。日々勉強の繰り返しですが、ご入居者の方々の穏やかな暮らしに寄り添う為にも、コミュニケーションを継続しつつチームワーク性を高めていければと思っています。

信頼の絆

私たちは、人と人がふれあい、支え合い、人生の春をいつまでも感じることができるような優しい春風を運んでまいりたいと願っております。



春風会 わかのうら

〒641-0025
和歌山市和歌浦中1丁目1番15号

春風会 きし

〒640-8441
和歌山市栄谷460番1

春風会 かたおなみ

〒641-0021
和歌山市和歌浦東4丁目3-51

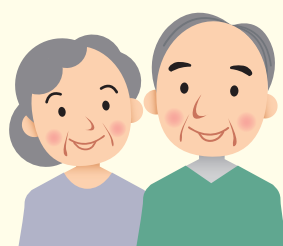
☐ 本部事務局・居宅介護支援	電話：073-494-5656	FAX：073-444-3216
☐ グループホーム	電話：073-488-5061	FAX：073-444-3216
☐ 認知症対応型デイサービス	電話：073-441-8667	FAX：073-444-3216
☐ 小規模多機能型居宅介護	電話：073-488-5063	FAX：073-444-3216

☐ 認知症対応型デイサービス	電話：073-452-6800	FAX：073-455-0015
☐ グループホーム	電話：073-488-4306	FAX：073-455-0015
☐ 居宅介護支援・ケアプラン	電話：073-488-4316	FAX：073-455-0015
☐ 訪問介護	電話：073-480-5188	FAX：073-455-0015

☐ 居宅介護支援・ケアプラン	電話：073-441-8665	FAX：073-441-8666
☐ 訪問介護	電話：073-444-3170	FAX：073-444-3215
☐ 訪問看護	電話：073-494-6266	FAX：073-441-8666
☐ グループホーム	電話：073-494-6266	FAX：073-441-8666

ご利用者 メッセーじ

元気やでえ～



機能訓練等の新しい取り組みについて

認知症対応型デイサービスは和歌山市内でも、15件程しかありません。「認知症対応型」とは、具体的に何をしてくれるのか？他のデイサービスとの違いは何なのか？と尋ねられることがあります。より皆様に知って頂くため、「認知症対応型デイサービスの専門性の見える化プロジェクト」を発足しました。

1日12名の小規模デイサービスで、ご利用中の方々は中

重度症状が見られ、それぞれの個性に合わせて、空間分けし、プログラムを日々考えて支援しています。今回のプロジェクトで「認知症になっても、選べること」の強化をすることで、より楽しく過ごして頂くことが出来るのではないかとこの結論に至りました。

1日のプログラムをスケジュール化、選べるレクリエーションと曜日によって「柔道整復師」や「作業療法士」、「准看護師」による多様な機能訓練の実施を導入しました。3名の機能訓練士が多様な体操や、作業療法を用いて「五感」への刺激をもたらしていただきます。



共に育つこと

春風会きしケアプランセンター



きし居宅介護支援事業所は、今まで一人体制だったところ、今年の4月にかたおなみ居宅介護支援事業所から森本CMが移動してきたことで二人体制となっています。

地域の事業所、活用できる社会資源、保険医療及び福祉に関する諸制度、厚生労働省、介護保険制度について最新情報の確認、ケアマネジメントに関する技術など相談や意見を求めることが出来るようになり、非常に助かっています。

それだけではなく、普段のご利用者の様子、エピソードを共有することで介護保険制度の基本理念とされる「利用者本位」「自立支援」「利用者による選択」に基づいて、二人で協力して取り組んでいます。加えて外部研修では、介護連携推進センター主催のものや日本認知症ケア学会などの研修に参加しています。但し、コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、外部研修はweb配信での研修で参加



しています。
また、かたおなみ居宅介護支援事業所とも情報共有と事例検討会や研修での学びを活かせるように面接、接遇など、対人スキルの向上を図るための練習を行い、日々お互いに成長できるように頑張っています。

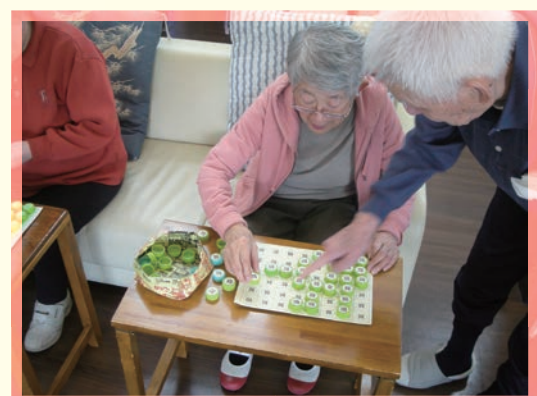
只今

全力疾走中

春風会きしデイサービス

きしデイサービスは開設から7年目を迎えました。ご利用者・ご家族のニーズにこれからお応えしてゆく為に、改めて「何が必要か」を振り返りました。共に寄り添う・共に地域で生きる・共に成長する事を大切に、1日の過ごし方を話し合いました。6月から鍼灸師・柔道整復師・作業療法士等の協力体制のもと、新メニューの提供を始めました。これまでの寄り添う支援にプラスし、脳の活性化と心身機能維持強化のアクティビティ

に力をいれました。緩やかな空間・活動的な空間が良い刺激となり楽しい時間が生まれています。



地域の風

かたおなみグループホーム

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受けて、季節ごとに開催されていたお花見、和歌祭り等が中止になり、外出はもとより、家族様との面会も自粛して頂きました。6月になって、やっと来所制限が一部解除され、少しずつ新しい生活スタイルが始まっています。そんな中で免疫力を高めるために日光浴が良いという事で、ご入居者の皆様も3か月ぶりに中庭や花壇のベンチでさわやかな風にあたりシャボン玉を楽しまれ、お茶を



見慣れた風景ではありますが、潮風に触れながら過ごせる時間はとても貴重で、当たり前前の日常に喜びを感じる毎日です。

新型コロナウイルス感染症第2波が来ると言われていますが、「3密」を避けて、熱中症対策をしてこの夏を乗り切りたいものです。